

2021年12月23日  
株式会社ロイヤリティ マーケティング

Pontaリサーチ会員3,000人に聞いた  
**第50回 Ponta消費意識調査 2021年12月発表**

**年末年始に消費したいもの、昨年調査に比べ、外食・旅行の割合が増加  
～「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」は、過去最高の15.1%～**

共通ポイントサービス「Ponta（ポンタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、消費者の意識とポイントの利用意向を把握するため、「第50回 Ponta消費意識調査」を「Pontaリサーチ」にて2021年11月25日（木）～11月28日（日）に実施いたしましたので、ご報告いたします。

### 注目トピック

### 「年末年始に購入・消費したい商品・サービス」

#### <消費者意識>

##### ・ 年末年始に購入・消費したい商品・サービス (P.2)

- 年末年始に購入・消費したい商品・サービス、1位「食品（ふだん食べるもの）」、2位「食品（お取り寄せなど、特別なもの）」、3位「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」。
- 昨年調査に比べ、外食・旅行の割合が増加。「食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店」が過去最高の15.1%

#### <節約志向>

##### ・ 消費者の節約志向 (P.3)

- 「節約したい」派は59.1%となり、前回調査より2.0ポイント減少

#### <ポイントサービスの利用意向>

##### ・ ポイントの活用意識と節約志向 (P.4)

- 「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が43.6%と最も高く「節約したい」派では、「いまつかいたい」が46.9%と最も高い
- 「節約したい」派に高いポイント活用意識が伺える

##### ・ いまポイントをつかいたい理由とポイントをつかう目安 (P.5)

- いまポイントをつかいたい理由、「節約のため」が約4割。「ポイントをつかってプチ贅沢をするため」が続く。
- ポイントをつかう目安は「1,001～5,000ポイント」たまったときが最多

##### ・ ポイントのため方 (P.6)

- ポイントのため方、節約したい派は、節約したくない派よりも「一度の買い物で、ポイントの多重取りをする」が11.8ポイント高い

#### <調査概要>

調査方法：インターネット調査

調査期間：2021年11月25日（木）～11月28日（日）

パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をして頂いている方）

回答者数：3,000人 男性、女性×年代別（20・30・40・50・60代以上）の各10セルで300サンプル

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。

＼ LMは、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています ／

注目トピック

消費者意識

年末年始に購入・消費したい商品・サービス

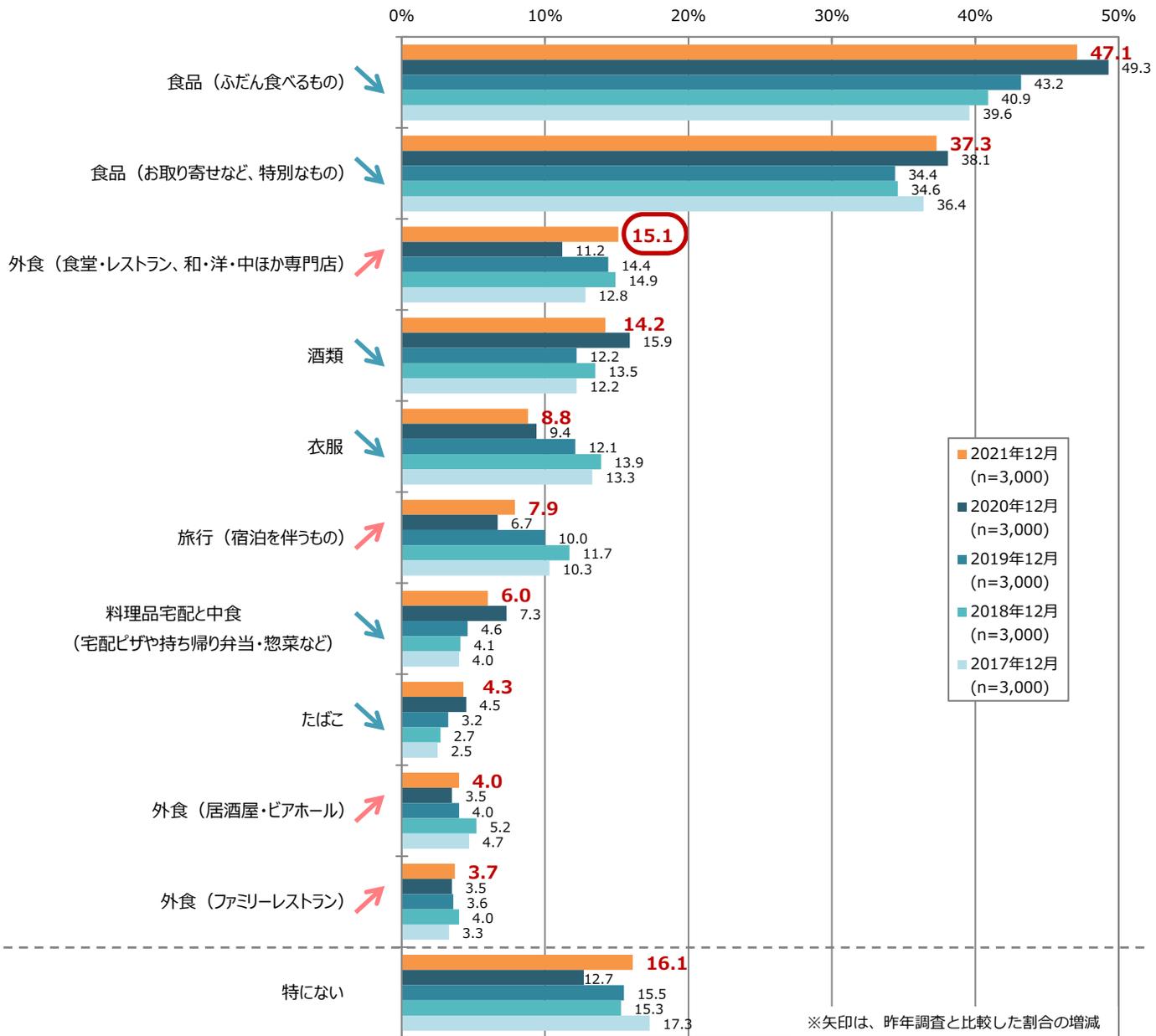
年末年始に購入・消費したい商品・サービス、1位「食品（ふだん食べるもの）」、2位「食品（お取り寄せなど、特別なもの）」、3位「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」。  
 昨年調査に比べ、外食・旅行の割合が増加。「食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店」が過去最高の15.1%

- ・年末年始に購入・消費したい商品・サービスについて、1位「食品（ふだん食べるもの）」、2位「食品（お取り寄せなど、特別なもの）」、3位「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」となった。
- ・外食や旅行に関する項目は、昨年調査と比べて割合が増加した。上位10位の中で増加幅が最も大きかったのは、「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」で3.9ポイント増の15.1%となり、過去最高だった。

■あなたが年末年始に特に購入・消費したい商品・サービスをお答えください。（3つまで）

※食、生活雑貨、住居、服飾、健康・美容、自動車、通信・メディア、余暇活動、金融商品、その他の10分野79項目より、上位10位を抜粋（「特になし」を除く） ※回答が同数で順位に差がある場合は、小数点第2位以下に差があるため

※2013年～2016年の調査結果は、こちらからご確認いただけます (<https://loyalty.co.jp/news/2019122001>)



節約志向

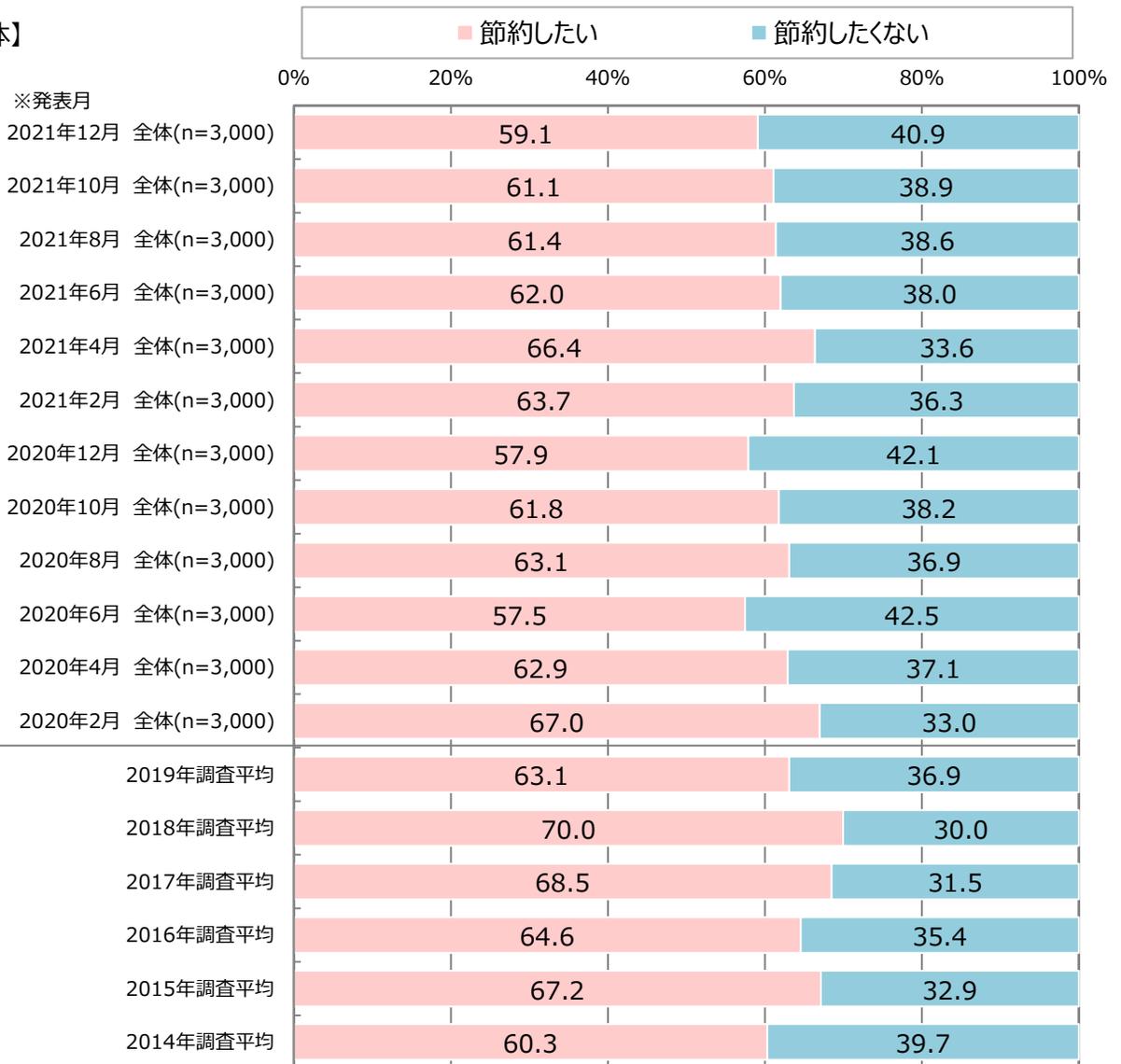
消費者の節約志向

「節約したい」派は59.1%となり、前回調査より2.0ポイント減少

・今月の家計の支出を節約したい金額に1円以上を回答した「節約したい」派は、59.1%となった。

■今月の家計の支出を節約したい割合

【全体】



・節約したい…節約したい金額が1円以上  
 ・節約したくない…節約したい金額が0円

【参考】 <設問> あなたは、今月の家計の支出をどのくらい節約したいですか。（半角数字で入力）  
 ※とくに節約したいと思わない人は「0」と入力してください。

※2014年調査平均は4～12月の偶数月5回分、その他の年ごとの調査平均は2月～12月の偶数月6回分の平均です。  
 各調査n=3,000、2014年4月調査のみn=3,013です。

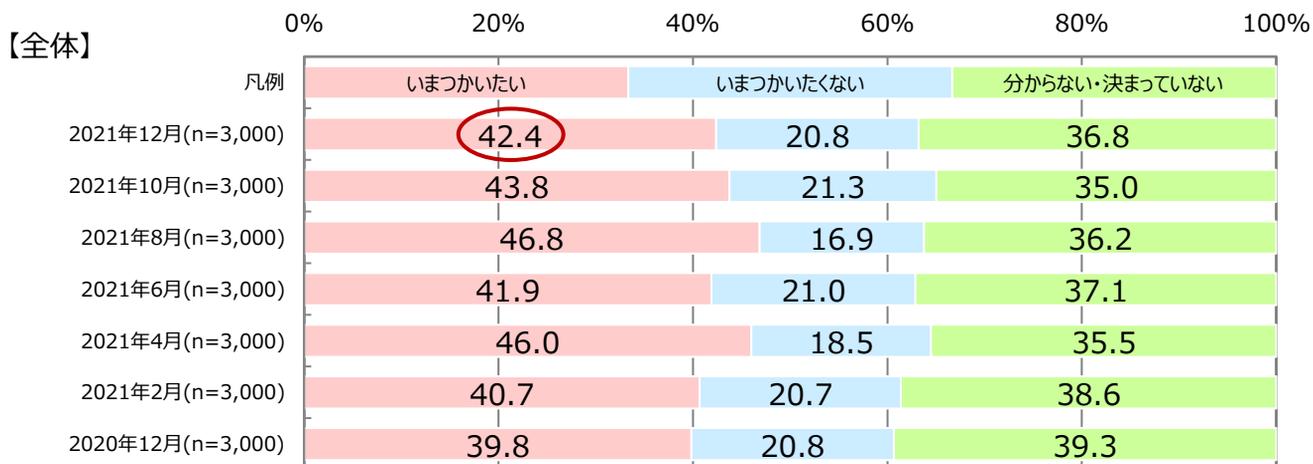
ポイントサービスの利用意向

ポイントの活用意識と節約志向

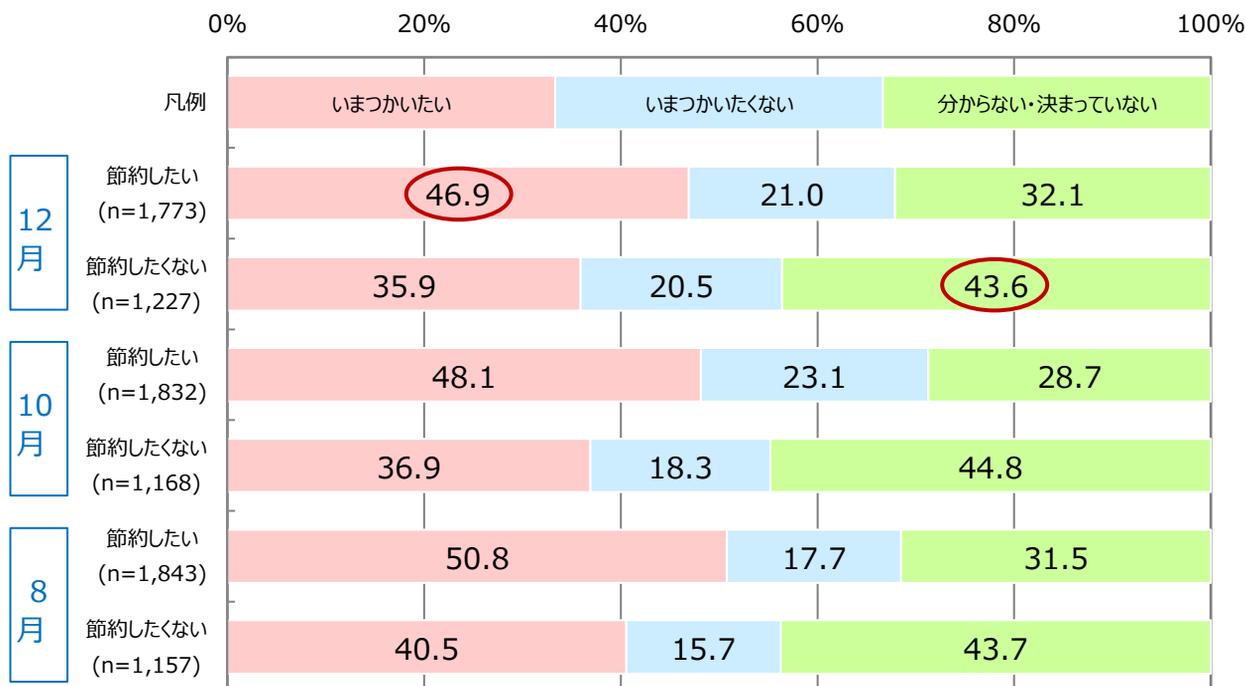
「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が43.6%と最も高く  
 「節約したい」派では、「いまつかいたい」が46.9%と最も高い  
 「節約したい」派に高いポイント活用意識が伺える

・いまPontaポイントをつかいたいかについて、全体で「いまつかいたい」が最も高く、42.4%となった。

■あなたはいまPontaポイントをつかいたいですか。（単一回答）



【節約志向の有無別】（2021年8月～2021年12月調査）



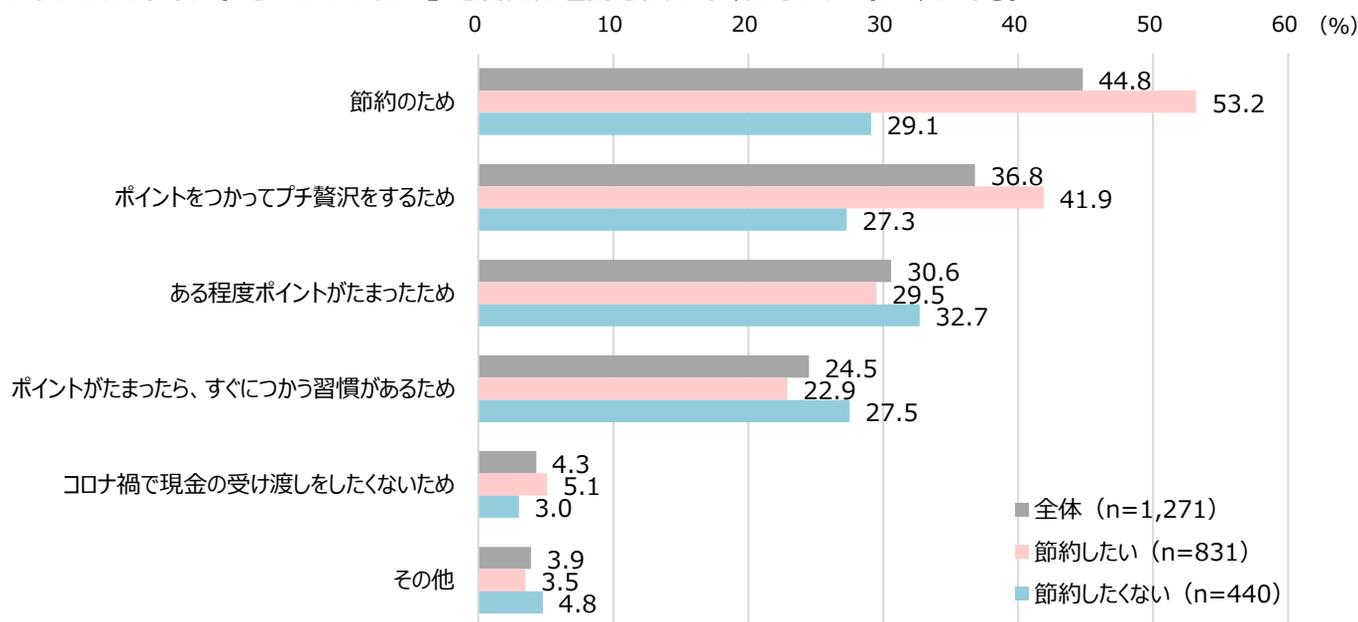
ポイントサービスの利用意向

いまポイントをつかいたい理由とポイントをつかう目安

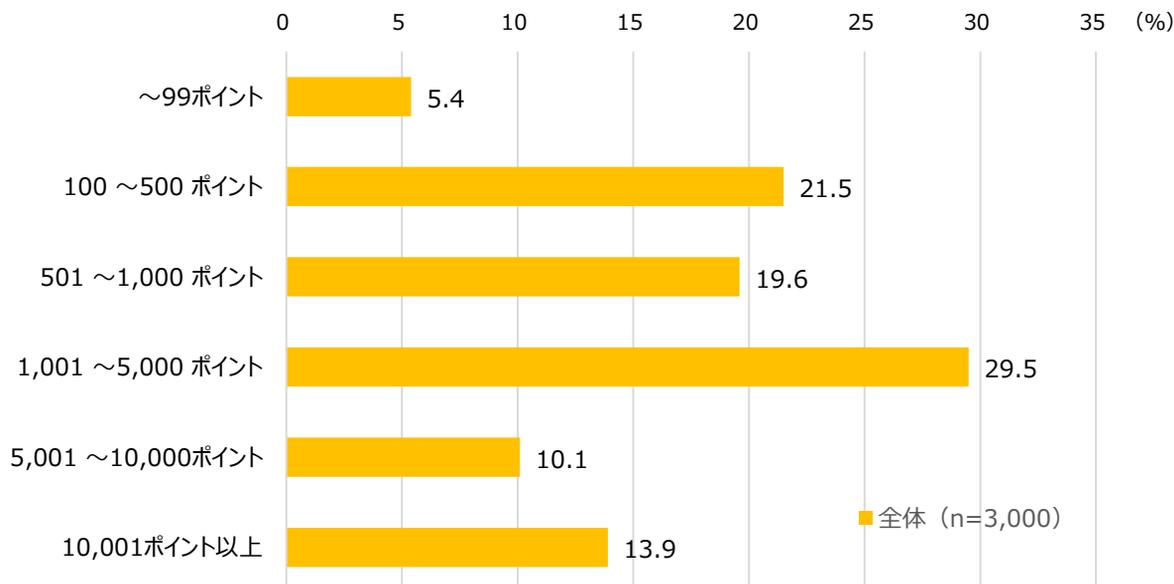
いまポイントをつかいたい理由、「節約のため」が約4割。「ポイントをつかってプチ贅沢をするため」が続く。ポイントをつかう目安は「1,001~5,000ポイント」たまったときが最多

- いまPontaポイントをつかいたいと回答した方に理由を伺ったところ、1位「節約のため」(44.8%) 2位「ポイントをつかってプチ贅沢をするため」(36.8%)となった。節約志向別でみると、節約したい派は節約したくない派よりも「節約のため」が24.1ポイント、「プチ贅沢」が14.6ポイント高かった。
- Pontaポイントがどれくらいたまったら、つかいたいかについて、「1,001~5,000ポイント」が29.5%で最多。次いで「100~500ポイント」が21.5%となった。

■いまPontaポイントを「つかいたい」と答えた理由を教えてください。(いくつでも)



■あなたは、どれくらいPontaポイントがたまったら、Pontaポイントをつかいますか。(ひとつだけ)



ポイントサービスの利用意向

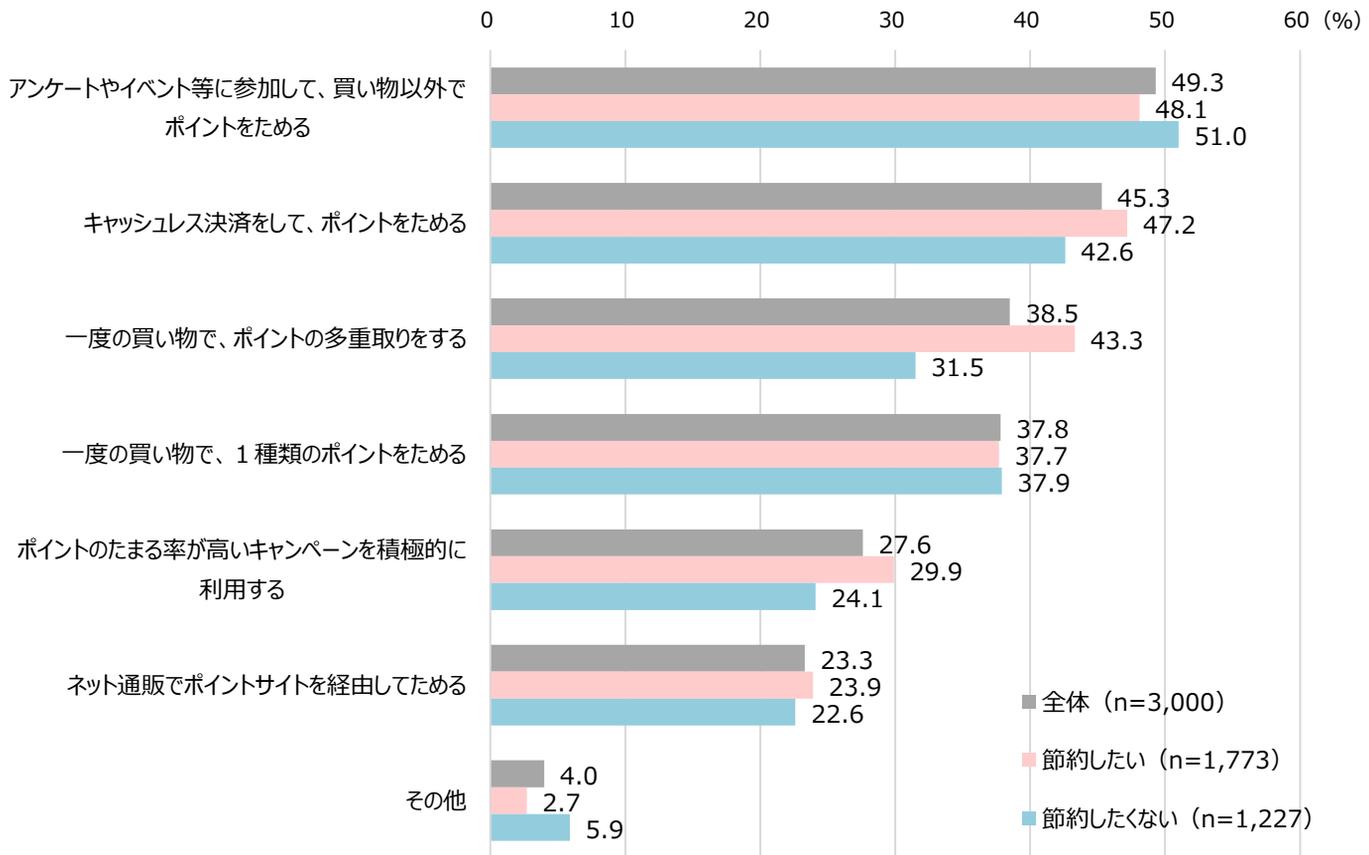
ポイントのため方

ポイントのため方、節約したい派は、節約したくない派よりも  
「一度の買い物で、ポイントの多重取りをする」が11.8ポイント高い

- ・ポイントのため方について、全体で「アンケートやイベント等に参加して、買い物以外でポイントをためる」(49.3%)、次いで「キャッシュレス決済をして、ポイントをためる」(45.3%)となった。
- ・節約志向別でみると、節約したい派が節約したくない派よりも高い割合となったものは、差の大きい順に、「一度の買い物で、ポイントの多重取りをする」で11.8ポイント差、「ポイントのたまる率が高いキャンペーンを積極的に利用する」で5.8ポイント差であった。

■あなたのポイントのため方について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも)

※ポイントはPontaポイントに限らず回答



<「Pontaリサーチ」について>

PontaリサーチはLMが提供するリサーチサービスで、Ponta会員のうち「Pontaリサーチ」にご登録いただいているPontaリサーチ会員を対象に、自主調査や企業および団体などから依頼を受けたアンケートをご案内しています。Pontaリサーチ会員の皆様は、アンケートにご協力いただくことでPontaポイントをためることができます。「Pontaリサーチ」サイトURL：  
<https://www.loyalty.co.jp/ponta-research/>

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、“「Pontaリサーチ」調べ”とクレジットを記載していただけますようお願い申し上げます。



## 参考

## 「Pontaリサーチ」コンサルティング・リサーチチーム 見解

**— 今年の年末年始に購入・消費したい商品・サービス、昨年調査に比べ、外食・旅行の割合が増加。「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」が過去最高の15.1%**

Ponta消費意識調査では、2013年より毎年、年末年始に購入・消費したい商品・サービスについて調査しており、今回が9回目となります。今年の1位は「食品（ふだん食べるもの）」、2位は「食品（お取り寄せなど、特別なもの）」となりました。2020年12月発表の昨年調査と、順位の変化はありませんでしたが、それぞれ割合が約1ポイント減少しました。「食品」に関する項目は昨年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「巣ごもり消費」によるニーズの高まりがつかえましたが、本調査では落ち着きがみられます。3位は「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」となり、昨年よりも順位が1つ上がりました。

また、上位10位の項目について昨年調査との増減の変化をみると、「外食」「旅行」で割合が増加しました。増加幅が最も大きかったのは、「外食（食堂・レストラン、和・洋・中ほか専門店）」で3.9ポイント増の15.1%となり、過去最高でした。「旅行（宿泊を伴うもの）」は1.2ポイント増、「外食（居酒屋・ビアホール）」は0.5ポイント増、「外食（ファミリーレストラン）」は0.2ポイント増でした。

昨年の調査期間において、1日の新型コロナウイルスの新規感染者数が全国で約2,000名だったのに対し、本調査の期間では約100名となっていました。このような背景もあり、外出を伴う「外食」「旅行」の項目において、昨年調査よりも割合が増加したと考えられます。

**— いまポイントをつかいたい理由、節約したい派で「ポイントをつかってプチ贅沢をするため」が約4割**

Ponta消費意識調査では、毎回、ポイントサービスの利用意向を聴取しています。本調査では合わせて、いまポイントをつかいたい理由やポイントをつかう目安、ポイントのため方について調査しました。

いまPontaポイントをつかいたいかについて、全体で「いまつかいたい」が最も高く、42.4%となりました。「いまつかいたい」を節約志向別（※）で見ると、節約したい派は46.9%、節約したくない派は35.9%でした。節約したい派に高いポイント活用意識がつかえます。

続いて、いまPontaポイントをつかいたいと回答した方に、その理由をうかがったところ、全体で1位は「節約のため」（44.8%）、2位は「ポイントをつかってプチ贅沢をするため」（36.8%）となりました。節約志向別で見ると、節約したい派は、節約したくない派よりも「節約のため」が24.1ポイント高い53.2%、「プチ贅沢をするため」は14.6ポイント高い41.9%となりました。節約したい派はポイントを、「節約の手段」や「プチ贅沢という楽しみ」のために活用している様子が見えます。Pontaポイントをつかいたい目安については、「1,001～5,000ポイント」が29.5%で最多、次いで「100～500ポイント」が21.5%となりました。

**— ポイントのため方、節約したい派は「ポイントの多重取り」「キャンペーンの積極的な利用」をしている**

ポイントのため方について、全体で「アンケートやイベント等に参加して、買い物以外でポイントをためる」が49.3%と最も高くなりました。Ponta消費意識調査は、アンケート回答でPontaポイントがたまる「Pontaリサーチ」を利用していることから、このような結果となったと考えられます。2位は「キャッシュレス決済をして、ポイントをためる」（45.3%）となりました。

また節約志向別で、節約したい派が節約したくない派よりも高い割合となったものは、差の大きい順に、「一度の買い物で、ポイントの多重取りをする」で11.8ポイント差、「ポイントのたまる率が高いキャンペーンを積極的に利用する」で5.8ポイント差でした。一度の買い物で、1種類のポイントをためる以外に、様々な手段を活用して、ポイントをより効率良くためる工夫をしている様子が見えます。

約6割を占める節約したい派において、ポイントサービスの利用状況を深掘りすると、ポイントを様々な方法で効率良くため、節約のためだけでなく、プチ贅沢という楽しみのためにも活用していることがつかえました。

※Ponta消費意識調査では、今月の家計の支出を節約したい金額に1円以上を回答した方を「節約したい派」、0円と回答した方を「節約したくない派」として集計しています